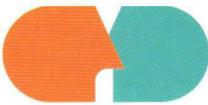
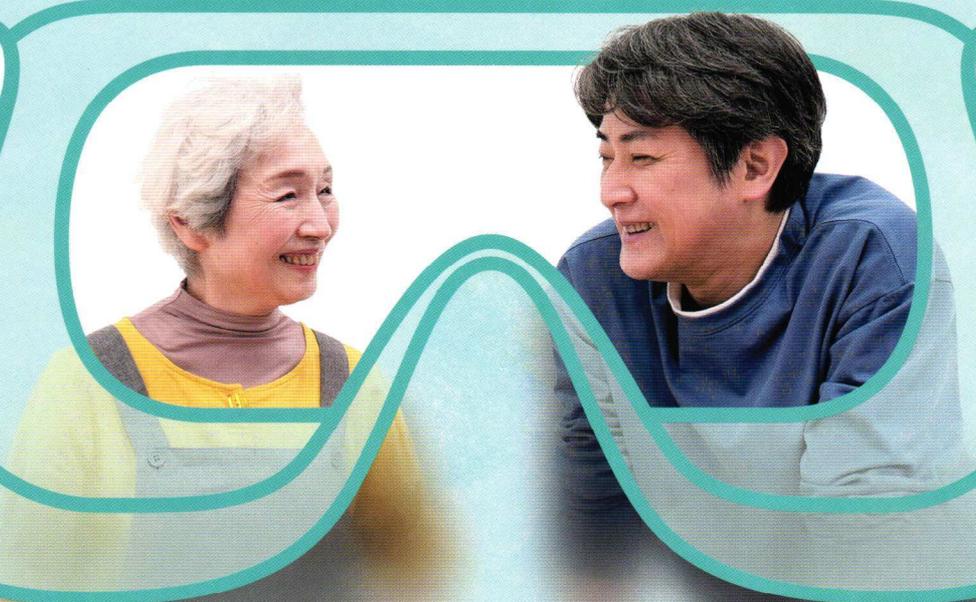
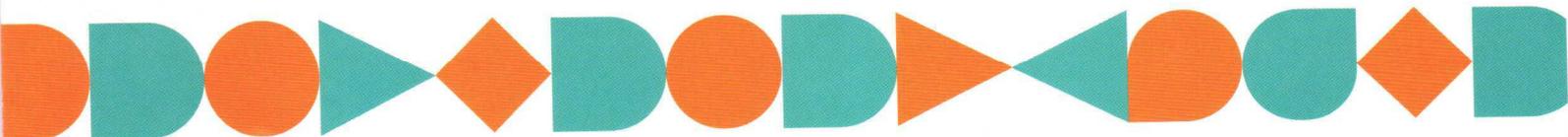


認知症ケア支援VR



FACE DUO

認知症の方と介護者
それぞれの目線で場면을体験し
よりよい接し方を学ぶ



ユーザーイメージ

トレーニングは、「認知症の方の行動を理解したい」「認知症の方への関わり方を学びたい」と考えているすべての方にご利用いただけます。

認知症の方を介護中の方



「認知症の方の行動を理解したい」「何に苦しんでいるか分かってあげたい」「関わり方を学びたい」と考えている方に役立ちます。

今後介護をするかもしれない方 (認知症サポーターなど)



「認知症の症状を知りたい」「事前に介護の準備をしておきたい」「地域で暮らす認知症の方への関わり方を知りたい」と考えている方に役立ちます。

介護に従事している支援者の方 (医療者、介護士、支援者など)



「認知症の方の行動を理解するための枠組みを知って、誰かに説明したい」「関わり方の工夫の選択肢を持ち現在の仕事に役立てたい」と考えている方に役立ちます。

認知症ケア支援 VR の具体的な利用イメージ



認知症介護教室

自治体、団体、地域共生薬局などで実施される認知症介護教室での利用



介護専門職研修

学会、病院、診療所、介護施設などで実施される介護専門職に対する研修での利用



体験会・展示

学会、団体などが開催するイベントでの体験会や展示での利用

監修者のコメント



●慶應義塾大学病院
藤澤大介先生

介護は、本来、優しさから始まっているものです。しかし、そういった優しさがおびやかされる場面があります。その一つは、介護する人に、介護を受ける人の心の中が見えなくなった場面であり、もう一つは、介護する人が疲れ果ててしまった場面です。

認知症という病気は、認知症を持つ人の心の中を周囲の人に見えにくくします。また、長期間の介護は介護者の心身を疲弊させます。このプログラムは、VR を活かして認知症の方の心の中を見えやすくして理解を助け、その理解にもとづいた優しいコミュニケーションを取り戻すことに役立つと期待されます。さらに、介護者自身に向けたストレスケアのコンテンツが介護者の心を優しくほぐすことと期待されます。



●株式会社ジョリーグッド
上級医療統括顧問
精神科専門医
蟹江 絢子先生

認知症の方の増加に伴い、認知症を介護する方も増えています。

現在では、誰もが「認知症介護の当事者」です。認知機能が低下している方と接するためには、介護者が関わり方を工夫する必要がどうしてもできます。関わり方の工夫は、穏やかな状態を維持するために、認知症の方が落ち着かなくなる「きっかけを減らす」とことと、認知症の方の戸惑う行動に対して介護者が、「対応のレパートリーを複数もつ」とことです。関わり方の工夫を学ぶ機会が少しでも増えることを願っています。ぜひ、あなたがそのファシリテーターになってください。

FACE DUO

認知症ケア支援 VR

販売会社 大塚製薬株式会社
〒108-8242 東京都港区港南 2-16-4 <https://www.otsuka.co.jp/>

開発会社 株式会社ジョリーグッド
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-13
WORK EDITION NIHONBASHI 701 <https://jollygood.co.jp>

サービスの
詳細はこちら
FACEDUOサイト

